



文庫 八事山

2019・冬

初護摩祈祷会／節分厄除祈祷会／星祭御札祈祷会

令和元年(2019)11月 年4回発行[寺報]

発行所 高野山真言宗 別格本山 八事山興正寺

光、一 万象 其の中に在り



高野山真言宗

別格本山 八事山興正寺

<http://www.koushoji.or.jp>

TEL 052-832-2801 FAX 052-832-8383

行事のご報告

【七月一十月】

七月十三日～十五日

第三十一回 愛知サマー・セミナー

四回目の参加となる愛知サマー・セミナー、今回は新作絵解き「ボップ・餓鬼草子」と「お経カラオケ発声法」の二講座をおこないました。

学生から年配の方まで、幅広い世代に体験して頂けました。



報告・写真提供 Bamboo Kids

七月十七日～八月二十一日

八事夢講座

第二回目(七月十七日)は芸どころ名古屋の原点を築いた徳川宗春公の政策「温知政要」がテーマ。多くの方にご参加いただき、大盛況となりました。貴重な宗春公直筆の掛軸も展示されました。(共催昭和区役所)



報告提供 名古屋市昭和区役所

七月二十六日

子ども寺子屋くらぶ 「日本の夏 紋切り遊び」

紋切りは江戸時代から続く文様遊び、折りたたんだ和紙に型紙をあてて切って広げると美しい文様が現れます。みんな夢中で切り、それぞれにすてきなうちわが完成しました。



報告提供 中部蜘蛛懇談会

七月二十九日～八月二十一日

日本冬桜の会手入れ

社会貢献運動「日本冬桜の会」では、興正寺公園に寄贈した冬桜の世話をために毎年寺を訪れます。今年も「年に二回咲く冬桜を広げよう」を合い言葉に「桜守夏の水遣り隊」メンバー五人で作業しました。



報告・写真提供 日本冬桜の会

七月十四日

茶の湯体験「Bamboo Kids」

岩倉市にある英語教室です。世界の文化だけでなく日本文化も知つて欲しくて体験に「来てよかったです」と子供達が思わず呟いていました。美しい空間、想いを共有でき、良い経験となりました。



報告・写真提供 Bamboo Kids

七月二十日～二十六日

お寺のラジオ体操

夏休み初めの一週間。毎日約五十人の子どもと約三十人の大人がお寺でラジオ体操を行いました。その後本堂でのお勤め、法話、そして境内の掃除。法話は子どもに必要な道徳や心得について話しました。



報告提供 名古屋市昭和区役所

七月二十七日

子ども寺子屋くらぶ 「筆舞®」

音楽にのせて軽やかに、また重々しく筆が紙の上を踊る。まさに「筆舞」といった庄巻のひとつを楽しんでいました。



報告提供 中部蜘蛛懇談会

七月二十九日

金剛流合唱団研修会

金剛流合唱団東日本ブロックと東海北陸ブロック合同研修会を開催しました。先生からご指導頂いた事を一言一句受け止め研鑽しました。



報告・写真提供 金剛流合唱団

七月十七日

青葉まつり

真言宗の開祖である弘法大師空海の生誕を祝う法会「青葉まつり」を厳修致しました。当日は誕生日を祝おうと参拝者が訪れ、生花で飾った華御堂にお祀りをした大師像に甘茶をかけ手を合わせておられました。



報告・写真提供 Bamboo Kids

七月二十三日

災害備蓄品の点検と入替作業

當山と高野山真言宗との協定により災害備蓄倉庫が當山に設置されています。倉庫には非常食、飲料水のほか、発電機、燃料などが保管されています。いざと言う時には檀信徒の皆様へ配布出来るよう日々準備をしています。



報告提供 名古屋市昭和区役所

七月二十四日～八月十六日

中部蜘蛛懇談会「夏休みこども観察会

夏休みの自由研究にぴったりの子供向けクモの観察会。親子合わせて四十人以上が集まり、クモの様々な生態に興味をもつて頂きました。



報告・写真提供 中部蜘蛛懇談会

七月二十九日

八事の森の夜の虫たちの観察

天候に恵まれ十九時より灯火観察と散策を行いました。十四組の親子が灯火に集まる虫を興味深く観察し、森ではセミの羽化や樹液を吸うカブトムシを見ることができ、とても感動的でした。



報告・写真提供 昭和生涯学習センター

八月三日～五月二十日

夏安居

釈尊在世より始められたとされるこの法会は、雨期に草木が生え繁り、昆虫や小動物が活動をはじめたため、外での修行(遊行)をやめ、一か所に定住することで小動物に対する無用な殺生を防ぐことを目的とした「安居」のひとつです。本年も無事に勧めさせていただきました。



報告・写真提供 総合学園ヒューマンアカデミー名古屋校

八月四日

社会体験研修「愛知県立学校」

教員研修の一環で、お茶会や縁日、法要など、さまざまな寺務を経験させていただきました。地域の重要な文化的施設としての役割も担う興正寺の皆様から学ばせていただいた心を込めて人と接し、周囲の環境に心を配ることの大切さは、ぜひ学校現場にも伝えておきたいと思います。



報告提供 愛知県立学校

八月十日

想耕茶会「涼風の席・白露の席」

夏の席は、渓谷の清らかな水の流れを感じさせる煎茶席と氷の茶碗でいたずら大勢の檀信徒さまにご参拝頂きとなりました。また、法会に合わせてのぼり旗の奉納祈願をお勤め致しました。



報告・写真提供 愛知県立学校

九月五日

文化人類学実習

「愛知県立総合看護専門学校」森の香りに満ちた境内で、六十～九十代の方々に仏様の心の支えやお墓参り、参拝者同士の交流や体力づくり季節の野菜や花、おいしい屋台など興正寺の多彩な魅力を教えていただきました。



報告・写真提供 愛知県立総合看護専門学校

八月三日～五月二十日

縁日朗読会「口紅のとき」

昭和区在住の朗読家・池上あきこと総合学園ヒューマンアカデミー名古屋校の学生七名による朗読会を開催致しました。鮮やかな浴衣姿での朗読会は、耳で楽しむ涼やかなひとときとなりました。



報告・写真提供 総合学園ヒューマンアカデミー名古屋校

八月五日

布薩会

戒律に違反していることがないかを確認する法要、布薩会を厳修いたしました。本年は僧侶十名の他に一般の方十七名に参加して頂きました。来年は八月十六日に厳修予定です。



報告・写真提供 総合学園ヒューマンアカデミー名古屋校

八月六日～八日

社会体験研修「愛知県立学校」

教員研修の一環で、お茶会や縁日、法要などを、さまざまな寺務を経験させていただきました。地域の重要な文化的施設としての役割も担う興正寺の皆様から学ばせていただいた心を込めて人と接し、周囲の環境に心を配ることの大切さは、ぜひ学校現場にも伝えておきたいと思います。



報告提供 愛知県立学校

八月八日～九月十二日

盆供養会

今年の興正寺のお盆は七月十四日の法会で、さまざまな寺務を経験させていただきました。地域の重要な文化的施設としての役割も担う興正寺の皆様から学ばせていただいた心を込めて人と接し、周囲の環境に心を配ることの大切さは、ぜひ学校現場にも伝えておきたいと思います。



報告提供 愛知県立学校

八月十四日

想耕茶会「涼風の席・白露の席」

夏の席は、渓谷の清らかな水の流れを感じさせる煎茶席と氷の茶碗でいたずら大勢の檀信徒さまにご参拝頂きとなりました。また、法会に合わせてのぼり旗の奉納祈願をお勤め致しました。



報告・写真提供 愛知県立学校

八月三十一日

第十四回チャリティーカーニバル・金鱗会納涼茶会

毎年行っておりました布薩会・施餓鬼法会、十日からの盆合同供養会、十五日の精靈送り、十六日の大施餓鬼法会で終わりました。今年から盆供養と施餓鬼供養を同じ供養会内で勤める事で、盆期間中に何度も来寺して頂かなくてもいいようにもして、盆合同供養会の会場を光明殿大ホールに変え、一座にたくさんの方が参拝出来るよう致しました。毎日たくさんの方にご参拝いただき、特に十日には大ホールが満席になるほどでした。また、精靈送りには社会福祉施設の方々に作っていただいたりお渡ししました。この日は台風にもかかわらず、たくさんの方にご参拝いただきました。



報告・写真提供 金鱗会

八月三日～五月二十日

阿息観体験「ティンカーベル」

夏休みの最終日、小学生九人が阿息観を体験しました。僧侶のリードで深く息を吐いて吸って呼吸が整うと、静かで落ち着いた気持ちになりました。



報告・写真提供 金鱗会

八月二十四日

日本冬桜の会手入れ

興正寺公園に寄贈した冬桜の世話のために毎年寺を訪れます。今年も「年に二回咲く冬桜を広げよう」を合い言葉に「桜守夏の水遣り隊」メンバーフive人で作業しました。



報告・写真提供 日本冬桜の会

九月五日

金剛流合唱団研修会

金剛流合唱団東日本ブロックと東海北陸ブロック合同研修会を開催しました。先生からご指導頂いた事を一言一句受け止め研鑽しました。



報告・写真提供 金剛流合唱団

九月十三日～十五日

第三十一回 愛知サマー・セミナー

四回目の参加となる愛知サマー・セミナー、今回は新作絵解き「ボップ・餓鬼草子」と「お経カラオケ発声法」の二講座をおこないました。



報告・写真提供 Bamboo Kids

九月十七日～九月二十一日

八事夢講座

第二回目(七月十七日)は芸どころ名古屋の原点を築いた徳川宗春公の政策「温知政要」がテーマ。多くの方にご参加いただき、大盛況となりました。貴重な宗春公直筆の掛軸も展示されました。(共催昭和区役所)



報告

行事のご報告

【七月～十月】

九月七日

子ども寺子屋くらぶ「十五夜お月さま」

日本人がお供え物をしてお月見を楽しむようになったのは江戸時代頃から。その年の収穫を祝い翌年の豊作を願う意味がありました。三宝にお団子、すすきを生けて、伝統的なお月見飾りを作りました。



九月九日

興正寺グランドデザイン懇談会「第二回」

これから興正寺が寺院として担う役割を多角的に捉える取り組みとして、今回は昭和区内にある鶴舞公園・川名公園・興正寺公園と3つの大きな公園の中で、管理していく鶴舞・川名公園とは違い、自然に任せていく興正寺公園をどのように手入れしたら地域の皆様にもっと活用していただけるのか。また五十年後百年後に魅力的な環境が残せるのかを中心多く有識者よりご意見を賜りました。

有識者区分 区政

ランドスケープデザイン
コンセプトデザイン
ランドスケープデザイン
コンセプトデザイン

九月十七日

樹木医と歩く興正寺の森

現役の樹木医から八事の地質や植生の特性を教わり、その後、参加者全員で森を散策しました。八事の森なら

ではの植物の紹介や植種による成長の違いなどを学習しました。

九月二十七日～十月五日

スリランカ仏教交流訪問

九月間の日程で仏教交流のためスリランカの寺院、三ヶ寺を訪問いたしました。訪問先の寺院では子供から大人まで大勢の方々の出迎えのもと、歌や音楽、舞踊など秋季彼岸合同供養会にてご先祖様への感謝の御供養を勤めさせていただきました。二十二日には特別永代祠堂法会を厳修致しました。二十三日には九時三十分より興正寺にてお預かりしている全ての永代供養の仏様の彼岸供養。十三時より人形仏具供養会を厳修し今までお世話になった人形に感謝の御供養を勤めました。



報告・写真提供 昭和生涯学習センター

方々と交流を深めました。

スリランカは別名「光り輝く島」と呼ばれています。仏の教えが今もなお人々の暮らしに「生きる教え」として息づいています。そこには眩いばかりの笑顔が溢れています。

この度、仏教交流訪問を通じて、たくさんの光り輝くものを心に観じ、溢れるばかりの笑顔に包まれて過ごすことが出来ました。最後となりますが、これらのスリランカの益々の仏法興隆をご祈念申し上げます。そして今回、「仏縁のもと、ご一緒に訪問した皆さま心より御礼申し上げます。



十月十日～十一日

弘法講十八本山巡礼

〔紅葉の京都・香川〕

勸修寺・善通寺・金毘羅宮に団体参拝を致しました。ご参加有難うございました。年一度の「弘法講十八本山巡礼」も来年で結願(最後)となります。次回は、根来寺・觀心寺・葛井寺を予定しております。またご一緒できる日を楽しみにしております。



千燈供養会



稚児行列

十月十二日

千燈供養会・稚児行列

台風により順延を決定した本年。確かにぎわう境内と良い天気にも恵まれ稚児行列を行いました。縁日でぎわう境内を歩くお稚児さんの愛らしさに参拝者も僧侶も笑顔があふれる中、ご祈祷とお参りを済ませました。夕刻からは柴燈大護摩祈祷。総本尊が安置されている大日堂への参道には、皆さまの供養と願いのこもつた燈明が整然と並べられ、行き

初めてご参加された方へ

弘法講員の皆さまは、一年間弘法堂にてご祈祷をさせて頂いておりますので、是非ご参加ください。

(毎月二十一日
弘法堂にて)

十月十四日

一日修養会「ガイアそっこ」

治療室に通う方々をお招きし「五感を愉しむ会」と銘打って開催致しました。大書院にて講師の桝田英伸僧侶より坐禅や法話、竹翠亭にてお抹茶をいただきました。「興正寺の落ち着く場所で日頃の忙しい日常から離れて、心身共にリラックスできました」

名城大学祭2019「協賛」

特定非営利活動法人国連UNHCR協会「寄附」

第三十一回愛知サマーセミナー「協賛」

昭和区民まつり「協賛」

赤い羽根共同募金「寄附」

中日新聞「九月三十日・十月二十三日」

SMBG PROJECT「十月四日」

茶の湯・ア息息相关体験・境内散策案内など

茶の湯体験・建物見学・掛軸拝観「滝川小学校」

特別養護老人ホーム高坂苑

特別養護老人ホーム南山の郷

名城大学祭2019「協賛」

茶の湯・ア息息相关体験・境内散策案内など

茶の湯体験・建物見学・掛軸拝観「滝川小学校」

特別養護老人ホーム高坂苑

特別養護老人ホーム南山の郷

名城大学祭2019「協賛」

茶の湯体験・建物見学・掛軸拝観「滝川小学校」

生きるための力になることも、 大切な役目のひとつです。

寺り語と正興

僧侶 高野 正清

昭和62年生まれ。'09年に入山。當山では毎月
8日に興正寺總本尊「胎藏界大日如來」の縁
日を厳修。年に一度幟旗を勧募し、一年間祈
願を勤めています。

人生の最期をお見送りさせていただ
く経験の中から、出会いの大切さと繋が
りの中で支え合う人生の豊かさを感じ
てきました。

ご葬儀のお勤めをさせていただく中
には、祖母、奥様、ご本人と葬儀が重な
るほどに、ご家族との縁が深まっています。
そうした中で、その縁の深ま
りに役目の大切さを実感しています。
時にはその縁の深さから、感極まるこ
ともあるのです。ただ、その場で僧侶が
涙を流しては、現世に故人の魂を踏み
留ませ、迷わせてしまうことになると
の教えをいただきました。ですがどうし
ても流れる涙を止めることができなく
なつてしまことがあります。

親しい方ができる喜びと同時に、お送
りしなくてはいけない悲しみも深まる
のですが、最期にお送りできるお役目
をいただけることのありがたさも感じ
ています。

最期の時に関わることの多いお役目
ではありますが、生きるための力になる
ことも、大切な役目のひとつです。

仏教の中には、生き方を説いて
いる内容が多くあります。悩み苦しみ、

不安になることについての向き合い方や
解決の仕方など、人を支え、生き抜く

力をなる教えがあります。私はその教
えを、もっと親しみやすく、もっと伝わり
やすくできることを日々考え、その応え
を模索しています。

例えば問題が起
きた時、どのように
向き合うとよいの
か。文殊菩薩（智慧
の仏様）が説く教
えのひとつに、「正しく
物事を見る」があり
ます。「正しさ」は
人によつて違ひが現
れことがあります。その理由には、正
しさを判断する時に人は「自分の物差
し」「家族のルール」「他人の物差し」「法
律・社会のルール」などに影響されるか
らです。正しさに近づくために、そこに
「仏様の物差し」を加えてみてはどうで
しょう。仏様なら、どのように考えるだ

ろう、という見方です。

物事の正しさとは曖昧で時間がたつ
につれて変わることがあります。それら
に囚われることなく、自身の心を静かに
する方法なども大切になると思いま
す。そのひとつに瞑想があります。瞑想
といつても色々な種類があり、その中で
も私がお勧めする
のは「ゼン・タンブル」
という絵を描く瞑
想です。模様を描い
たり、見本を描き
写したりします。考
えては駄目、ただひ
たすら描くのです。
今に集中し、あるが
ままの様子に身を

置く瞑想法です。

生きるための力になるお手伝いのひ
とつに、私は文字や絵を通して携わるこ
とができるたら、とてもありがたいと思つ
ています。出会いの大切さと、繋がりの
中で支え合う人生を心の喜びとして。

出会いの大切さと、
繋がりの中で支え合う人生を
心の喜びとして。



中
萬象在其

のチ
カタチ
KATACHI

ひかりばんじょうそのうちにあり
光萬象在其中

感じる力

では、光を感じるのはどんなときでしよう。木立の間を縫つてふりそぐ陽光、車のライト、帰宅して点ける照明、お参りで灯す口ウソクなど日常の中に光はあると思いますが、「感じる」となると暗

きでしよう。木立の間を縫つてふりそぐ陽光、車のライト、帰宅して点ける照明、お参りで灯す口ウソクなど日常の中に光はあると思いますが、「感じる」となると暗

いが強いのですが、その一方で、行き詰まりどうしようもない時に差し伸べられた手や閃いたアイデアを「筋の光明がさす」と表現するがあります。単なるあかりとりの光ではなく、生きる縁となる光は暗闇の中に在る私たちを導いてくださる仏の智慧や慈悲とも言えるでしょう。



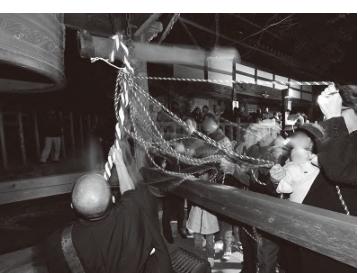
興正寺で
出会える、
日本に息づく
おもしろみ。

光を描くとき、あなたならどんな色を選ぶでしょうか。きらきらと眩い金、鈍く輝く銀、燃えるような太陽の赤に人々の窓に灯るオレンジの明かり、炎は青白くゆらめいて：思い描く光のイメージにより、選ぶ色は様々でしょう。それぞれが思い描く色があるからには、光には多くの色があるからです。科学的に言えば、色=光で、光=電磁波のこと。私たちが認識できるのは電磁波の中の「可視光」という領域で、波長の短い紫から波長の長い赤までの虹色の部分だそうです。七色のグラデーションが輝きをまとい、光はその色となつて私たちの目に認識されるのです。

いところのほうがより光を意識する場面は多いでしょう。

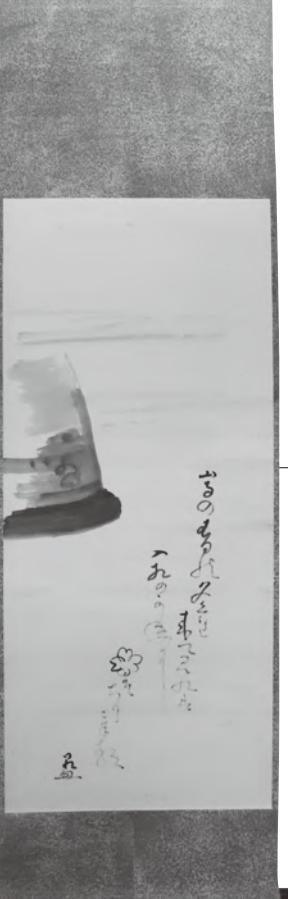
光は発光してまわりを照らし、明るくします。暗く良く見えない人までできています。便利という不便です。

その中でも、年の暮れに行われる除夜の鐘は、一年間を締めくくる大事な時鐘です。日本の歴史上、千二百年以上続く儀礼で、鐘を撞く金属音は魔を寄せ付けない意があります。これは後に、御堂の屋根の四つ角に下げられる「風鐸」となり、やがて、夏の風物詩の風鈴となりました。



日ニ寺ヲ觀ズ

地域の歴史と八事山



鐘之図

令和を迎えて、カレンダー（暦）など、日本の生活に根差す事柄が目に見えて変化しました。

太陽と月だけは、変わることなく日々、昇り沈みしています。令和元年だからといって特別な昇り方をするわけではなく、いつもと同じように、昇り沈みしています。人間は太陽と月を見ながら暦をつくり、日々の生活の節目々を過ごしています。

古くは、太陽・月などを基にした暦により生活をしていました。そこに、突然、電気・電灯ができ、時計というものが出現し、ラジオやテレビ、近来ではスマホなど、二十四時間いろいろな情報を知る事ができるようになりました。

私たちの「便利」の基準が変化した

ように感じます。便利になり過ぎてはいないでしょうか。

便利になり過ぎた分、最近では「一日がなぜ二十四時間なのか」「一ヶ月がなぜ二十八～三十一日なのか」「一年がなぜ三六五日なのか」を知らない人までできています。

便利という不便です。

人は毎日、昇り沈みする太陽と月を見ながら節目々をつくり、その季節と時期によって仕事や祭事、行事などを行つきました。

その中でも、年の暮れに行われる除夜の鐘は、夜十二時前後に年越しを通して撞かれる「時鐘」です。最近では、深夜の鐘打ちは、騒音や近所迷惑というニュースも見かけます。

では、除夜の鐘の意味を知るとどう

また鐘を鳴らします

太陽が真上に昇り、鐘を鳴らし日が暮れるのを見て、鐘を鳴らしそして、

月がでて、真上にあがつたころ、

から春と暖かい春の訪れを待ちます。

では、寺にはハギ・サクラ・モミジ・ツツジなど、季節の花や樹木の自然が豊かなのはなぜでしょう。

昔、時計というものがない時代、時

や季節を知ろうとしたときには皆、寺に訪れました。そして、花や樹木を見て季節を観じ、鐘の音を聞いて時を観していました。

日に寺と書いて「時」。

令和二年を迎えると、皆さんにも身近な、新年祈祷・節分星祭祈祷と、主だった二回の祈祷会がございます。このような儀式を行い、秋から冬、冬

寺という場所は、仏様に手を合わせ参拝、信仰する所というだけではなく、季節や時を見て体で観じる場所もあります。

にいた
しい
らづ
息知恵。

水と暮らし



すべての「もの」に感謝

我々の周りには「もの」が溢れています。春夏秋冬「エアコン」1台で快適に過ごすことが出来ます。スーパーに行けば「食べもの」が簡単に手に入ります。

ご先祖様が見たら夢のようだ

と思うでしょう。

では、夢の世界に生きる我々は実感しているでしょうか。

1つ手に入れても次の「もの」

竹・翠・日・和

手あぶりの温もり

現代はあまり火を使わなくなりました。家庭の中でも、電化製品の使用により火を扱うことが少なくなりました。

火は人間にとうて欠くことのできないものです。人間の文化の発展は火の活用とともにあるといつても過言ではありません。

人は火によって暗闇を払い明るさを手にして、暖をとる術を得て、火の熱によって物を作りだし、食べ物の調理法を発展させてきました。今

の便利な世の中があるのは火がもたらす恩恵の賜物です。

火の利用法は、道具としての活用だけではなく宗教的あるいは象徴的な意味や役割も担ってきました。時に火は、神様の依り代となり、また仏様のお供えの燈明となりました。

そのため古来の人々は火を敬い大切に扱っていました。

火を大切にすることで生活が豊かになり、家族に笑顔が生まれ、幸せが広がります。そのようなたくさんの恩恵を、古来の人々は十二分に感じ、畏敬の念として持ち合わせていました。

最近、私たちは火を扱う生活から離れてしまい火への敬いや恩恵を忘れていないでしょうか。

竹翠亭では寒い時期になりますと、部屋の中に大きな手あぶり火鉢を置きます。朝から炭を熾して火を入れます。寒い朝、かじかんだ手を少し温めてから掃除へと向かう。

炭が真赤に燃え盛るゝ、竹翠亭にお客様がいらっしゃる。気が付けばみんな火鉢へと吸い寄せられる。手あぶりを囲んで人の輪が出来る。自然と会話も弾む。手を温めるはずがいつの間にか心まで温まっている。火がもたらす恩恵は、人と人との結びつけお互いの心を温めることです。

今日もまた竹翠亭では手あぶりを囲んで人の輪が出来る。そこには、ほつこりとした時間が流れています。



旧暦では、元旦は必ず新月でした。初日の出の前に、初めて汲む水には月の力が宿っている——つまり、命を新しくする力がある、と考えられました。この水を「若水、麥若水、福水、宝水、黄金水」と呼びます。

かつて、新年の初めには清らかな「若水」を汲んで年神様にお供えしました。水を汲む人を「年男」と言い、年男は年の暮れから年神様を迎えるための大掃除、正月飾り、さらにはおせち料理も準備しました。年男は、家長がその務めをおこなつたそうです。若水を汲むことを「若水迎え」と言い、なるべく遠くの、清らかな水を汲みに行きました。その途中では、人に会つても口を利用のは厳禁。そして、水を汲むときにはおめでたい唱えごと。「福どんぶり、徳どんぶり、福くむ、徳くむ、幸いくむ」「新玉の年立ち返るこの時に、よろずの宝いま汲み上げる」「黄金の水を汲みます」などと呼びます。

かつて、新年の初めには清らかな「若水」を汲んで年神様にお供えしました。水を汲む人を「年男」と言い、年男は年の暮れから年神様を迎えるための大掃除、正月飾り、さらにはおせち料理も準備しました。年男は、家長がその務めをおこなつたそうです。若水を汲むことを「若水迎え」と言い、なるべく遠くの、清らかな水を汲みに行きました。その途中では、人に会つても口を利用のは厳禁。そして、水を汲むときにはおめでたい唱えごと。「福どんぶり、徳どんぶり、福くむ、徳くむ、幸いくむ」「新玉の年立ち返るこの時に、よろずの宝いま汲み上げる」「黄金の水を汲みます」などと呼びます。

若水は年神様に供えられた後、雑煮の煮炊きや、大福茶を淹れる水として使われました。大福茶は梅干しや結び昆布を入れたお茶で、一年の邪気を払うとされます。

普段何気なく使っている水も、私たち日本人は「命の水」として尊く受け止めてきました。新年は是非、湧水の地である興正寺にお参りして、恙ない仕合せに手を合わせましょう。

かのえね 2020年[令和2年]庚子 新年初詣



申込方法	まずは電話問合せください「初護摩祈祷会 法人・団体担当」宛	
日 時	一月五日～二月二十九日のご希望日時	
祈祷料	護摩祈祷	三万円より (参拝人数三十名まで・僧侶七名以上)
特別大護摩祈祷	大護摩祈祷	十万円より (参拝人數百名まで・僧侶五名)

法人・団体について

新春を迎えるにあたり、法人・団体様は個別に祈願申し上げます。
新しい年の始まりは、事業に対する決意を新たにされる節目となります。
尾張徳川家の祈願所として三百年を超える信仰を集める興正寺にて、皆様方の繁栄や、共に働く方々の健康や安全を御前前に祈願し、無病息災と勤労の喜びを感謝する機会として頂ければと存じます。

願目例／商売繁昌・社運繁昌・作業安全・社員健康など

新年のお供えに 奉納 正月餅

1口 1,000円 お名前をあげさせていただきます

申込方法 来寺(受付／納経所)1月4日まで

年始のご供養について

年始はご供養のご要望が多いため「合同供養」を勧めさせていただきます。
興正寺での納骨の有無に関わらず、どなたでもご参列いただけます。

元日～1月3日 11時30分・13時30分

♦所要時間約30分 ♦各回15分前までに受付をお済ませください。

受付・供養場所 圓照堂 (圓照堂以外の供養墓の方も、
圓照堂にて法要を勤めます)

供養料 5,000円より

予約申込 電話 / 052 - 832 - 2801
来寺 / 納経所 又は 圓照堂まで

圓照堂にご納骨の方へ
お位牌出し承ります

要予約

予 約 電話 / 052 - 832 - 2801
来寺 / 圓照堂まで

締 切 希望日前日の15時まで

※個別供養については、事前の予約にて可能な場合のみお承りいたします。ご希望にそいかねる場合がございますので、ご了承ください。

左記期間中はお骨出しが出来ません。ご了承ください。



新年 初護摩 祈祷会

尾張徳川家の祈願所

元日～一月四日

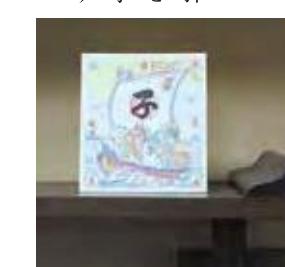


除夜の鐘

興正寺でごす大晦日
十二月三十一日

志納 (護摩木含)
受付 当日 二十三時より
(納経所付近)
百円

場所 観音堂



**新年干支巡り
招福の「飾り絵」色紙**

日 時 元日～一月五日
十時～十六時
場 所 竹翠亭
拝 観 料 五百円

金粉入りお抹茶と正月菓子で
おもてなしをいたします。
興正寺、お正月のおもてなし

迎春呈茶

興正寺、お正月のおもてなし

令和二年

節分・星祭

「節分」とは

❖ 暮らしや自然との関わりに基づく一年の節目

豆をまいて厄を払う

自身に巡る星を供養し

一年間の災いを軽くする

星祭開運祈祷札

自身に巡る星を供養し

一年間の災いを軽くする

星祭開運祈祷札



「星祭」とは

❖ 星の巡り合わせによって生じる悪事災難のこと
「本厄」といって大きな厄が来る年があり、男性は四十二歳、女性が三十三歳といわれたりします。これは多くの方に身体の変化が訪れる歳ですので、特に気をつけてくださいということです。
本厄ではない時でも、その年々によって大なり小なり厄が訪れます。



星祭開運祈祷札

受渡し期間	二月五日～三月五日
時間中、まかれた豆を西山本堂内(外陣)にてお受けいただけます(無料)	※各回十分前より受付
場所	西山本堂

星祭

一年間家でお祀りし、災いを引き受ける御札



「御札」とは

❖ 自身に降りかかる難を替わりに受け、災厄を少しでも小さくしてくれる守り札です。

一般に厄年にあたる方はご祈祷を受けますが、厄年でなくとも厄を受けてしまう事があります。それは近しい方の厄と一緒に受けてしまふからです。厄年でない方も開運厄除を祈願し、御札(星祭開運祈祷札)をお祀りください。



締切

◆ 節分厄除祈祷会

郵送	来寺
令和2年1月25日	令和2年2月3日

◆ 星祭開運祈祷札

郵送	来寺
令和2年1月25日	令和2年1月31日

興正寺では、毎年2月3日に節分・星祭を勤めております。「節分厄除祈祷会」で自身の厄を寺に落として軽くし、「星祭開運祈祷札」で一年間の災いを引き受けさせていただきます。ご家族の皆さまが大過なく一年を過ごされますよう、興正寺にてご祈祷いたします。

当日の様子をご覧いただけます。
<http://www.koushoji.or.jp>

節分

豆をまいて厄を払う

節分厄除祈祷会

豆をまいて厄を払う

紙札	木札
約20cm	約30.5cm
祈祷札 500円	小木札 1,000円
約38.5cm	中木札 3,000円
約45.5cm	大木札 5,000円
特別木札	
約54.5cm	約54.5cm
ご加護 裏面	諸曜総呪 ※3万円木札のみ 当年属星 (当年九曜星)
※特別木札(1万円・3万円)には、ご本人の当年属星(当年九曜星)を記入いたします。	
※特別木札をお申し込みの方は、西山本堂内に1年間お名前をあげさせていただきます。	特別木札 10,000円
特別木札 30,000円	

申込方法 郵送 または 来寺 にて

※電話での申込みはお受け出来かねますのでご了承ください。

※現金の郵送はご遠慮ください。

※申込書の控えはお手元に大切に保管してください。

郵送
①申込書に記入

申込書・返信用封筒に必要事項を記入。

②郵便局にて払込

払込用紙に必要事項を記入いただき、郵便局にて払込みください。

③発送手続き

申込書を返信用封筒に入れ、発送手続きを行ってください。

来寺
①申込書に記入

申込書に必要事項を記入。

②来寺・申込手続き

納経所(受付)にて、申込書と祈祷料をお認めください。
8:00～17:00

1日で巡る！お正月の七福神めぐり

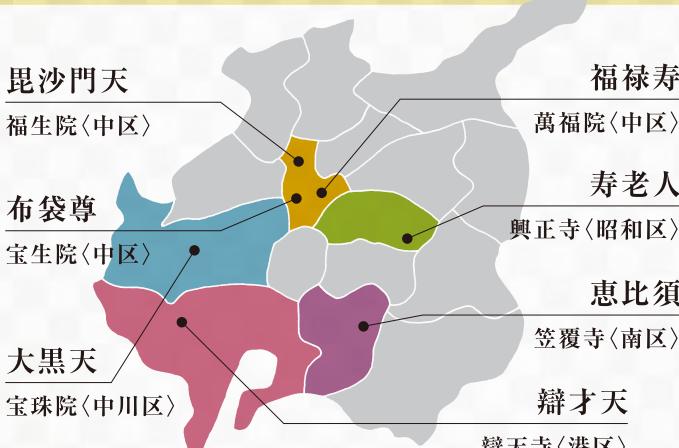
七難即滅
七福即生

なごや七福神めぐり

大人気のおめでたい神さまたちをめぐって、
新しい年にたくさんのお福を呼び込みましょう！

なごや七福神をお祀りする七つのお寺は、どこも由緒あるすてきなお寺ばかり。
七福神さまだけでなく、どんなお寺なのかをきちんと知っておけば、
お参りの時の喜びもどんどんふくらみますよ！

※行事や混雑時などのさい、手書き朱印や大色紙の対応をお受けしかねる場合がありますのでご了承ください。



中区 成田山 萬福院 〈真言宗智山派〉

萬福院は慶長年間 重秀法印により清須に開山し、名古屋城築城と共にこの地に移転。その後、大本山成田山より本尊不動明王を勧請し、名古屋の成田山不動尊靈場として参詣を集めています。特に節分会においてはこの地方で最も古くから行われ、多くの神社仏閣のお手本とされています。

福禄寿 御利益 延寿福樂

福禄寿は南極老人星の化身です。中国、北宋の嘉祐年中に現れた道士で、身長短く頭長く美髪を蓄え、杖頭に経巻を結び常に白鶴を伴っています。杖頭の経巻には人の寿命が記されています。

昭和区 八事山 興正寺 〈高野山真言宗〉

興正寺は1688年、天瑞圓照和尚により創建された古刹です。尾張徳川家二代藩主光友公の帰依により諸堂建立し、尾張高野と称されています。国の重要文化財の五重塔や、四季の移り変りを慈しむ竹翠亭をはじめ、毎月5日・13日の縁日と21日のマルシェは参詣者で賑わいます。

寿老人 御利益 不老長寿

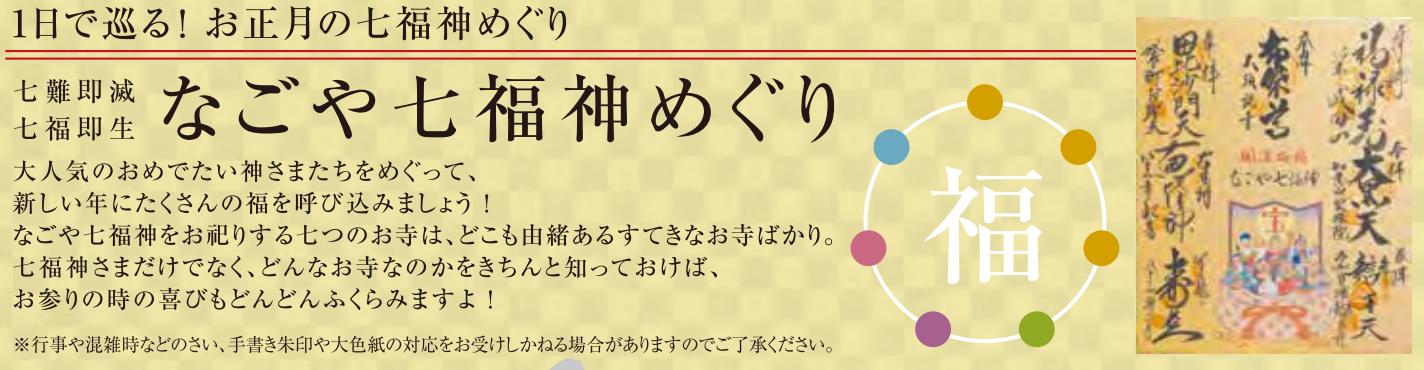
寿老人も南極老人星の化身で長寿の杖を持ち、玄鹿(くろしか)を伴っています。玄鹿は1500才を経たる鹿で、人若しこの肉を食するとき、2000才の寿を受ける事が出来、延寿の神として祀られています。

中区 大須観音 宝生院 〈真言宗智山派〉

宝生院は真言宗智山派別格本山で「大須の觀音様」として広く全国にその名が知られています。650年前に能信上人によって開創され、本尊は弘法大師作の聖観世音菩薩です。毎年2月の節分には七福神を乗せた宝船が出て数十万人の人出で賑わいます。

布袋尊 御利益 諸縁吉祥

布袋尊は自ら弥勒菩薩の化身として常に袋を負い、身につくものをことごとく此の中に収め、また、路に落ちたるもの、他人より貴いけいしものを皆、中に収め、喜びの相を示す故に、福神として人々より和合の神として祀られています。



南区 笠寺觀音 笠覆寺 〈真言宗智山派〉

笠覆寺は尾張四觀音の一つで、天平五年(733年)の開創、本尊は十一面觀世音菩薩で庶民の信仰篤く毎月6日、16日、18日、26日は多くの善男善女が開運厄除、縁むすび、家内安全、商売繁昌の祈願をされます。毎年2月の節分、及び、8月9日の「九万九千日」には多くの参拝者が賑わいます。

恵比須 御利益 商売繁昌

恵比須は伊弉諾尊(いざなぎのみこと)の第三子で、そのお姿は風折鳥帽子をかぶり、狩衣(かりぎぬ)、指貫(さしづき)を着け、釣竿を持ち、腋下に鯛を抱く喜びの神です。財産運と商売繁昌を祈念して祀られています。

中川区 如意山 宝珠院 〈真言宗智山派〉

宝珠院は天平元年(729年)、泰澄大師開創の古刹で、兆殿司真筆不動明王は靈験特に優れ、毎月28日は願かけ祈祷が行われます。また、厄よけ大師靈場として毎月21日は多くの参拝者が訪れます。境内全域は名古屋市緑地保全特別指定地区に指定されています。

大黒天 御利益 開運招福

大黒天は大自在天の化身で、愛楽の相を現し、福徳施与の神として、これを供養するものは貧窮転じて大福長者たらしむの誓願があります。狩衣の服装に頭巾をかぶり、肩に袋を負い、右手に打出の小槌を持ち、米俵の上に立ち、福を与える神です。

中区 袋町お聖天 福生院 〈真言宗智山派〉

福生院は至徳三年(1386年)順誉上人が大聖歓喜天を奉安して中村の里に創建された名刹で、元和三年(1617年)名古屋遷都と共に現在地に移転しました。以後袋町のお聖天様として帰依する信者が多く、日夜香煙絶える事なく現世利益祈願所として親しまれています。

毘沙門天 御利益 七福即生

毘沙門天は甲冑をつけ、手に宝塔、鉾を持ち魔を降伏し、善根を積むものに福徳を与える勇氣の神です。生に与えて福徳を授くる故に、施神の神として世に最も崇拜されています。

港区 多加良浦 辭天寺 〈真言宗智山派〉

辯天寺は近江の国、竹生島宝嚴寺の名古屋別院として、大正十四年(1925年)に建立されました。本尊辯才天は彦根城主井伊直弼公が天守閣に安置されました。頂上には、前に鳥居後に白蛇体の宝冠をいただき、八臂で、宝珠、輪宝、宝弓、宝鉢、宝鏡、宝棒、宝箭、宝鑰(ほうやく)を持ち、現世で寿命を増益する誓願を示しています。

辯才天 御利益 福徳自在

辯才天は梵天王の妃で、弁舌の才を助け、知恵の福を与える神として信仰されています。頂上には、前に鳥居後に白蛇体の宝冠をいただき、八臂で、宝珠、輪宝、宝弓、宝鉢、宝鏡、宝棒、宝箭、宝鑰(ほうやく)を持ち、現世で寿命を増益する誓願を示しています。

◆ 令和二年 厄年・年齢早見表「数え年」

くようせい 九曜星	らごうせい 羅睺星	どようせい 土曜星	すいようせい 水曜星	きんようせい 金曜星	にちようせい 日曜星	かようせい 火曜星	けいとせい 計都星	げつようせい 月曜星	もくようせい 木曜星
吉凶	大凶	半吉	末吉	半吉	大吉	大凶	大吉	大吉	大吉
きゅうせい 九星	七赤金星	八白土星	九紫火星	一白水星	二黒土星	三碧木星	四綠木星	五黃土星	六白金星
令2年/2020	令1年/2019	平30年/2018	平29年/2017	平28年/2016	平27年/2015	平26年/2014	平25年/2013	平24年/2012	
1 ねずみ	2 いのしし	3 いぬ	4 とり	5 さる	6 ひつじ	7 うま	8 へび	9 たつ	
平23年/2011	平22年/2010	平21年/2009	平20年/2008	平19年/2007	平18年/2006	平17年/2005	平16年/2004	平15年/2003	
10 うさぎ	11 とら	12 うし	13 ねずみ	14 いのしし	15 うし	16 とり	17 さる	18 ひつじ	
平14年/2002	平13年/2001	平12年/2000	平11年/1999	平10年/1998	平9年/1997	平8年/1996	平7年/1995	平6年/1994	
19 うま	20 へび	21 たつ	22 うさぎ	23 とら	24 うし	25 ねずみ	26 いのしし	27 たつ	
平5年/1993	平4年/1992	平3年/1991	平2年/1990	平1年/1989	昭63年/1988	昭62年/1987	昭61年/1986	昭60年/1985	
28 とり	29 さる	30 ひつじ	31 うま	32 へび	33 たつ	34 うさぎ	35 とら	36 うし	
昭59年/1984	昭58年/1983	昭57年/1982	昭56年/1981	昭55年/1980	昭54年/1979	昭53年/1978	昭52年/1977	昭51年/1976	
37 ねずみ	38 いのしし	39 いぬ	40 とり	41 さる	42 ひつじ	43 うま	44 へび	45 たつ	
昭50年/1975	昭49年/1974	昭48年/1973	昭47年/1972	昭46年/1971	昭45年/1970	昭44年/1969	昭43年/1968	昭42年/1967	
46 うさぎ	47 とら	48 うし	49 ねズみ	50 いのしし	51 うし	52 とり	53 さる	54 ひつじ	
昭41年/1966	昭40年/1965	昭39年/1964	昭38年/1963	昭37年/1962	昭36年/1961	昭35年/1960	昭34年/1959	昭33年/1958	
55 うま	56 へび	57 たつ	58 うさぎ	59 とら	60 うし	61 ねズみ	62 いのしし	63 たつ	
昭32年/1957	昭31年/1956	昭30年/1955	昭29年/1954	昭28年/1953	昭27年/1952	昭26年/1951	昭25年/1950	昭24年/1949	
64 とり	65 さる	66 ひつじ	67 うま	68 へび	69 たつ	70 うさぎ	71 とら	72 うし	
昭23年/1948	昭22年/1947	昭21年/1946	昭20年/1945	昭19年/1944	昭18年/1943	昭17年/1942	昭16年/1941	昭15年/1940	
73 ねズみ	74 いのしし	75 いぬ	76 とり	77 さる	78 ひつじ	79 うま	80 へび	81 たつ	
昭14年/1939	昭13年/1938	昭12年/1937	昭11年/1936	昭10年/1935	昭9年/1934	昭8年/1933	昭7年/1932	昭6年/1931	
82 うさぎ	83 とら	84 うし	85 ねズみ	86 いのしし	87 うし	88 とり	89 さる	90 ひつじ	
昭5年/1930	昭4年/1929	昭3年/1928	昭2年/1927	大15年/1926	大14年/1925	大13年/1924	大12年/1923	大11年/1922	
91 うま	92 へび	93 たつ	94 うさぎ	95 とら	96 うし	97 ねズみ	98 いのしし	99 たつ	

厄年とは一生のうちで何らかの厄難に遭遇する恐れの多い年齢をいいます。

厄除けをするにあたり、一年の無事を願い御札に身代わりになっていただき、その災いを少しでも小さくすることができます。※真言宗では男女共通の厄として考えます。

赤字厄年：厄払い祈祷をおすすめします **特に注意**：大凶・体力低下を起こしやすい年齢なので要注意 **前厄**：本厄の前年で、注意が必要と言われています

◆ 令和2年 年忌早見表

1周忌	令和1年逝去 (平成31年)	3回忌	平成30年逝去	7回忌	平成26年逝去	13回忌	平成20年逝去	17回忌	平成16年逝去
23回忌	平成10年逝去	27回忌	平成6年逝去	33回忌	昭和63年逝去	50回忌	昭和46年逝去	100回忌	大正10年逝去

行事日程等変更のお知らせ

十二月三十一日

ペートーベン「第九」合唱

諸般の都合により開催を中止することとなりました。楽しみにされていた皆様には大変申し訳ございません。何卒ご理解を賜りますよう、お願ひ致します。

(除夜の鐘は例年通り行います。どうぞご参加ください)

十二月三十日

あつまれ！体験マルシェ

100を超えるお店が興正寺境内に大集合。新鮮野菜やスイーツ、雑貨といつたお買い物だけでなく、「体験」を楽しむワークショップもあります。野菜販売のお手伝いも出来ますよーぜひお越しください。



時間 十時～十五時

問合せ サロン・ド・マルシェ

052(798)6522

十二月三十日

成道会「旧暦十二月八日」

一月二日

成道会「旧暦十二月八日」

お釈迦さまが長年の苦行の後、菩提樹の下で成道（悟りを開かれた）されたのが旧暦十二月八日です。

そこでこの日を記念して、お釈迦さまが悟られるまでの過程を偲び、悟られたことを喜び、私たちが仏道修行に励む決意を新たにするため、朝勤行に併せ勤めさせていただきます。

特別朱印あり（数限定／一体三百円）

一月十八日

興正寺初釜

初釜とは、新年に初めて炉に釜をかけて行われる茶事で稽古始めでもあります。

興正寺の初釜では濃茶席・薄茶席・点心席があります。



場所 西山本堂
時間 八時
申込 不要
申込方法 電話・来寺（十時～十六時）

初弘法・お授戒

「仮の心の在り方」を説く「戒」のみ教えを阿闍梨さまより直接授かり、ご法話をいただく儀式です。現代に生きる人々にこそ思い出していただきたい心の規範が見つかるかもしれません。

他 菩薩戒牒（御守り）を授与致します。
途中退場はできません。
定員 五十名（当日先着順）
場所 弘法堂
時間 十時半～十一時半ごろ
申込方法 電話・来寺（十時～十六時）

塔」をはじめとしたお堂と参拝の方の安全を守るために、毎年文化財防火デーに合わせて消火訓練を実施しています。

塔の湯と戦国武将たち

西尾市オーブンカラレッジ

「茶の湯と戦国武将たち」

樹田英伸僧侶が講座を担当致します。お誘いあわせの上、是非受講ください。

日程	12月11日・12月25日・令和2年1月8日
時間	十四時～十五時三十分
場所	西尾市中央ふれあいセンター
主催・問合せ先	西尾市役所生涯学習課

想耕茶会「福豆茶席」

場所 竹翠亭
時間 十時・十一時・十三時・十四時
申込方法 電話・来寺（十時～十六時）

茶券 千五百円
申込方法 電話・来寺（十時～十六時）

主催・問合せ先 西尾市役所生涯学習課

十二月十一日～令和二年二月二十六日

文化財防火デー・消火訓練

国の重要文化財に指定されている「興正寺五重塔」をはじめとしたお堂と参拝の方の安全を守るために、毎年文化財防火デーに合わせて消火訓練を実施しています。

塔の湯と戦国武将たち

西尾市オーブンカラレッジ

「茶の湯と戦国武将たち」

樹田英伸僧侶が講座を担当致します。お誘いあわせの上、是非受講ください。

日程	12月11日・12月25日・令和2年1月8日
時間	十四時～十五時三十分
場所	西尾市中央ふれあいセンター
主催・問合せ先	西尾市役所生涯学習課

2020年[令和2年]年間行事予定

七月	五月	四月	三月	二月	一月
十三日～十五日 七月盆 十五日	十四日	五月 三十日 十三日 （朱）御正当 （旧暦三月二十一日）	（所要二時間／受付 三十分前より） 申込・締切 要（公式サイト・電話・納経所） 支具料 千円	六月19日・7月17日・8月21日・9月18日・10月16日 十一月20日・12月18日 1月15日・2月19日・3月18日・4月15日・5月20日	一日～四日 初護摩祈祷会 二日 （朱）成道会 （旧暦十二月八日） 九日 （朱）涅槃会 （旧暦二月十五日） 十四日 興正寺開山忌 二十四日 人形仏具供養会 （お中日） 動物慰靈法会 二十二日 永代祠堂法会 （朱）花まつり （旧暦四月八日）
精霊送り	七月盆合同供養会	大般若經転読祈祷会	十七日～二十三日 春季彼岸会 （お中日） 人形仏具供養会 興正寺施主慰靈法会 動物慰靈法会 二十一日 （朱）御正當 （旧暦三月二十一日）	三日 星祭御札祈祷会 五日 大般若經転読祈祷会 九日 （朱）涅槃会 （旧暦二月十五日） 十四日 興正寺開山忌 二十四日 人形仏具供養会 （お中日） 動物慰靈法会 二十二日 永代祠堂法会 （朱）花まつり （旧暦四月八日）	一日 修正会 二日 初護摩祈祷会 三日 節分厄除祈祷会 五日 大般若經転読祈祷会 九日 （朱）涅槃会 （旧暦二月十五日） 十四日 興正寺開山忌 二十四日 人形仏具供養会 （お中日） 動物慰靈法会 二十二日 永代祠堂法会 （朱）花まつり （旧暦四月八日）

十二月	十月	九月	八月
一日～五日 三十一日 除夜の鐘	十月 十日 （朱）千燈供養会 稚児行列	十九日～二十五日 秋季彼岸会 二十日 （お中日） 人形仏具供養会 （朱）布薩会 大施餓鬼法会 二十四日 （お中日） 人形仏具供養会 （朱）地藏菩薩 （能満堂） （朱）不動明王 （不動護摩堂）	十日～十五日 八月盆 十日 （朱）青葉まつり （旧暦六月十五日） 十五日 八月盆合同供養会 十日 觀世音菩薩九万九千日 十一日 興正寺施主慰靈法会 十二日 初盆合同供養会 十五日 精靈送り 十五日 大般若經転読祈祷会 十六日 （朱）布薩会 大施餓鬼法会 二十一日 （お中日） 人形仏具供養会 （朱）地藏菩薩 （能満堂） （朱）不動明王 （不動護摩堂）
三千仏名会（懺悔会）	（朱）千燈供養会 稚児行列	（朱）千燈供養会 稚児行列	五日 大隨求明王（西山本堂）[露店あり] 八日 大日如來（大日堂） 十三日 虚空藏菩薩（能満堂）[露店あり] 十五日 阿彌陀如來（東山本堂）

毎月
諸堂縁日

花のあるくらしさは、心もち
をやわらかにしてくれます。肩ひじはらず、季節の草
花と向き合い、その日出会った器に生ける。花を
いくしみ生かす精神と基礎を学び、日々を豊か
にする体验をしてみませんか。

※資格を取得する講座ではありません

日 ち 每月第3木曜日

時 間 十三時～十五時

講 師 華道高野山講師

持ち物 お持ちの方は
「花ばさみ」

小林弘子 平野裕子

「花合羽」

（朱）マークの法会では、特別朱印授与がございます。

20

19

講座のご案内

【カレンダー日程と併せてご覧ください】

仮説歌

金剛流御詠歌の入門講座。お作法や符の読み方からはじめます。入門編に触れた後には、初級・上級講座も。

御詠歌入門講座

講師 鈴村智弘 僧侶	申込 不要
支具料 無料	支具料 無料

体験する
阿息觀(密教禪)

密教の修行法として説かれた瞑想法のレクチャーをストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30日)に開講。



阿息觀(密教禪)

毎月二十一日の興正寺マルシェの日に行われる体験講座です。どなたでもお気軽に。十三時より法話あり。(再受講の方は、時間内参加随意)

講師 植田英伸 僧侶	申込 不要
支具料 千円	支具料 無料

写経写仏はじめて講座

毎月二十一日の興正寺マルシェの日に行われる体験講座です。どなたでもお気軽に。十三時より法話あり。(再受講の方は、時間内参加随意)



和文化体験 いけばな

縁日 大隨求明王
[露店あり]
場所/西山本堂
▽干支成満巡り
集合/納経所前 時間/10時
支具料/無料(別途朱印代)

縁日 大般若經転読祈祷会

講師 杉浦宣秀 僧侶	申込 不要
支具料 無料	支具料 無料

申込 不要

小寒 6 大安

7 赤口

8 先勝

9 友引

10 先負

11 仏滅

12 大安

13 赤口

縁日 虚空藏菩薩
[露店あり]
場所/能満堂
▽干支成満巡り
集合/納経所前 時間/10時
支具料/無料(別途朱印代)

14 先勝

15 友引

16 先負

17 仏滅

18 大安

19 赤口

20 先勝

縁日 虚空藏菩薩
[露店あり]
場所/能満堂
▽干支成満巡り
集合/納経所前 時間/10時
支具料/無料(別途朱印代)

21 友引

22 先負

23 仏滅

24 大安

25 先勝

26 友引

27 先負

縁日 弘法大師
[興正寺マルシェ]
場所/弘法堂
初弘法・お授戒
月並御影供
マルシェ茶席
写経写仏
はじめて講座

TERA-YOGA
[レギュラー・マタニティ]

名古屋市
自動車図書館

28 仏滅

29 大安

30 赤口

31 先勝

32 友引

33 仏滅

34 大安

35 先勝

36 友引

37 仏滅

38 大安

39 先勝

40 友引

41 仏滅

42 大安

43 先勝

44 友引

45 仏滅

46 大安

葬儀について

家族葬から社葬大型葬まで、一般的なセレモニーホールとは異なり緑豊かで三百年以上の時を刻む歴史ある地でのお葬儀は、より一層にお越しいただいた方の記憶に残ることでしょう。お問合せはお電話にて。

資料請求は公式サイトお問合せ、もしくはお電話にて。

祥月忌合同供養会(日程はカレンダー参照)
場所 西山本堂圓照堂天瑞いづみの会は圓照堂
時間 西山本堂十三時・圓照堂十三時三十分
供養料 一靈 五千円より(当日受付)

学ぶ

仮説入門講座

難しい用語を使わず、お経を中心勉強していきま

す。脱線話もあり、仏教は初めてという方も安心です。

物のこと。平安時代に書かれた地獄・極楽を詳

しく説いた『往生要集』を読み解きます。

仏典(仮説典籍)とは仏教における権威ある書

物のこと。平安時代に書かれた地獄・極楽を詳

しく説いた『往生要集』を読み解きます。

永代供養納骨堂のご相談について

家族葬から社葬大型葬まで、一般的なセレモニーホールとは異なり緑豊かで三百年以上の時を刻む歴史ある地でのお葬儀は、より一層にお越しいただいた方の記憶に残ることでしょう。お問合せはお電話にて。

資料請求は公式サイトお問合せ、もしくはお電話にて。

祥月忌合同供養会(日程はカレンダー参照)
場所 西山本堂圓照堂天瑞いづみの会は圓照堂
時間 西山本堂十三時・圓照堂十三時三十分
供養料 一靈 五千円より(当日受付)

和の心にふれる

西山海良僧侶

興正寺の普門園内にある茶室竹翠亭で行われる少人数制の講座です。日本文化にふれ、心を深めるひとときを。

申込 要(公式サイトより)
支具料 二千円

和の心にふれる

西山海良僧侶

興正寺の普門園内にある茶室竹翠亭で行われる少人数制の講座です。日本文化にふれ、心を深めるひとときを。

申込 要(公式サイトより)
支具料 二千円

遊翠の心 写経

阿息觀

行事カレンダー



2月

[如月]

御縁日
[毎月]5日 10時 大隨求明王[露店あり]
8日 12時30分 .. 大日如来
13日 10時 虚空蔵菩薩[露店あり]
15日 13時 阿弥陀如来18日 13時 観世音菩薩
21日 10時30分 .. 弘法大師[興正寺マルシェ]
24日 13時 地藏菩薩
28日 14時 不動明王

月	火	水	木	金	土	日
					1 友引	2 先負 祥月忌合同供養会 [靈龕堂・佐羅陀淨苑・遮那 奏苑・永代経・永代納骨・ 圓照堂]
3 仏滅 節分厄除祈祷会 星祭御札祈祷会 想耕茶会[福豆茶席]	立春 4 大安	5 赤口 縁日 大隨求明王 [露店あり] 場所／西山本堂 ▽干支成満巡り 集合／納経所前 時間／10時 支具料／無料(別途朱印代)	6 先勝 遊翠の心 茶の古典を読む	7 友引	8 先負 縁日 大日如来 場所／大日堂	9 仏滅 祥月忌合同供養会 [圓照堂]
		星祭開運祈祷札 受渡し期間				
10 大安 阿息観 普門園休園日[竹翠亭舎]	11 赤口 遊翠の心 写経	12 先勝 遊翠の心きもの装い [初級・応用]	13 友引 縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり] 場所／能満堂 ▽干支成満巡り 集合／納経所前 時間／10時 支具料／無料(別途朱印代)	14 先負	15 仏滅 縁日 阿弥陀如来 場所／東山本堂	16 大安
17 赤口 普門園休園日[竹翠亭舎]	18 先勝 縁日 観世音菩薩 場所／觀音堂 仏典読み解き講座	雨水 19 友引 八事夢講座	20 先負 阿息観 和文化体験いけばな	21 仏滅 縁日 弘法大師 [興正寺マルシェ] 場所／弘法堂 月並御影供 マルシェ茶席 写経写仏 はじめて講座 TERA-YOGA [レギュラー・マタニティ]	22 大安 安産合同祈祷会 [護摩祈禱]	23 赤口
24 友引 縁日 地藏菩薩 場所／能満堂 普門園休園日[竹翠亭舎]	25 先負 遊翠の心 阿息観	26 仏滅	27 大安	28 赤口 縁日 不動明王 場所／不動護摩堂 遊翠の心 水墨画	29 先勝	

※赤文字(行事)、緑色文字(講座)の詳細は、13~20ページでご紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。

※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認いただけます。